



【テーマ聖句】

「自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして
獻げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝
です。」（ローマの信徒への手紙 12 章 1 節）

2021 年 1 月 8 日(金)

私の旅

私の親しい友人である一人の牧師が 41 歳で突然この世を去ったとき、36 歳のビジネスマンだった私の心に、ある思いが投げかけられました。神がもし、私を牧師として召してくださると言ったら、いったいどうするだろう？ それは、これまで一度も考えたことのない思いでした。私は一週間、苦い思いで神と交渉しながら格闘しました。朝も、昼も、真夜中も…。他の方法なら、なんでも従います、と私は幾度も説明しました。しかし主は、私の反論をまるで聞いておられないようでした。神と議論するのをやめてベッドサイドにひざまずくと、静かな声が私の耳に語りかけました。**神は、あなたを愛しておられる！**私の思いは定まりました。**そうだ、この言葉を信じよう。**

数分が過ぎて、私はただ神の愛に信頼し、自分自身を完全に主に委ねようと決心しました。すると不思議と心が平安に満たされたのです。一年半後、主は本当に私を牧師として召されました。長い期間が過ぎても、私は主に感謝しています。恐れていた思いとはまったく逆の方法で、主は限りない愛と知恵を私に示してくださいました。あのときに神に委ねたことが、私の生涯に大きな祝福をもたらしたのだと、私は今でも信じています。主は私を最高の道へと導いてくださったのです。

なぜ委ねる？

ガリー・F・ウィリアムズが著しているように、「完全に委ねることが、救いと、再生と、罪と誘惑に対する勝利、そして聖霊に満たされるための鍵なのです。」（『どのように聖霊に満たされ、それを知ることができるのか？』 英文）この力強いメッセージはいくら強調しても足りません。

私が神に完全に用いていただくために、自分自身を神に完全に委ねなければならなかったように、使徒パウロもまた、ダマスコ途上で神に召されたときに、過去の古い生き方と計画とをあきらめなければなりませんでした。パウロはローマの信徒への手紙の中で、信者たちに次のように促しています。「自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして獻げなさい。」そして「あなたの五体を、義のための道具として神に獻げなさい」と。

多くの人は自分自身を神に委ねていません。（気づいていない場合もありますが）その代わりに彼らは、人生を自分の手に委ねています。彼らは、神が与えてくださった贈り物である聖霊を受け取っていません。「しかしほかのすべての約束と同じように、それは条件つきで与えられている。主の約束を信じ、これをわがものと主張する人は多い。彼らは**キリスト**について語り、**聖霊**について語るが、何の益も受けない。彼らは天来の力によってみちびかれ、支配してもらうために魂をあけわたそうとしない」（『各時代の希望』下巻 158 ページ）。

人間である私たちは、自由を失うことに強い抵抗を覚えますが、神が私たちになそうとしておられることは、実はまったく逆なのです。「神は私たちをいやし、解放しようと望んでおられます。けれども、それには全面的な改革、つまり私たちの性質をまったく新しくする必要がありますので、私たちは自己をすべて神にささげなければなりません。」（『キリストへの道』改訂第3版文庫判 59、60 ページ）

罪に支配される人生は、私たちが想像する自由とはほど遠いものです。「神に献身しようとしないう魂はみな、別の権力の支配下にある。彼は彼自身のものではない。彼は自由を口にするかも知れないが、最もあわれむべき奴隷状態にある。彼の心はサタンの支配下にあるので、真理の美しさを見ることがゆるされない。彼は、自分自身の判断の命令に従っているとうぬぼれているが、実は暗黒の君の意思に従っている

のである。キリストは、魂を罪の奴隷の束縛から切り離すためにこられた。」(『各時代の希望』中巻 255 ページ)

キリストに委ねることによって、失うものは何でしょうか？ 主は、私たちを支配する絶対的な権力から、私たちを解放することがおできになります。それは妬み、恨み、争い、貪欲、依存、怒り、誇り、うぬぼれ、落胆、劣等感などです。覚えてください。すべての人間は、いつも自分自身の中にある罪と戦っているのです。罪に支配されている「あなた」が、あなたにとって一番の敵となっているのです。「魂がキリストに屈服する時に行われる変化の中に、最高の意味の自由がある。」(同上)

陶器職人の手で粘土が練られるときに、最高の器を造り上げる事ができます。同じように、私たちも自らを神の手に委ねなければならないのです。「いっさいの能力を神に従わせる時、人生の問題は非常に単純になります。生まれつきの心の情欲との限りない戦いは下火となり、終息してしまいます。」(『希望への光 - クリスマス生活編』 348 ページ)

私たちが神に委ねるときに、人生は持続する喜びに満ちたものになります。「キリストをみことば通りに信じ、自分の魂をキリストの守りに委ね、その生活をキリストの命令に従わせる者には、平安とおだやかさがある。イエスがそのご臨在によって彼らをよろこばせてくださる時、この世のどんなものも彼らを悲しませることができない。ただ黙々として従うことに完全な休みがある」(『各時代の希望』中巻 53 ページ)。主は今日、あなたをこの完全な平安へと招いておられるのです。

【神の御言葉によって祈る】

私たちを、あなたの愛の道具にしてください

「また、あなたがたの五体を不義のための道具として罪に任せてはなりません。かえって、自分自身を死者の中から生き返った者として神に献げ、また、五体を義のための道具として神に献げなさい。」(ローマの信徒への手紙 6 章 13 節)

主よ、私たちは、自分のすべてをあなたにささげたいです。あなたのご栄光のために、私をあなたの道具として用いてください。

私たちの生活そのものを、礼拝へと変えてください

「こういうわけで、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です」(ローマの信徒への手紙 12 章 1 節)。

主よ、新しく造り変えてくださるとのお約束に心から感謝します。なんの制限も設けずに、日々、あなたに委ねることを教えてください。あなたの力によって、すべてにおいてあなたに従うことができますように。

私たちを、悪い者からお守りください

「神によって生まれた者はだれも罪の中に生きないことを、私たちは知っています。神から生まれた方が彼を守っていてくださるので、悪い者は彼に触れることができないのです。」(ヨハネの手紙 1・5 章 18 節 新改訳)

主よ、あなたに委ねるなら、悪しき者から守ってくださるという約束に感謝します。私たちを、完全な喜びにあふれるあなたの道へと導いてください。

【更なる祈りの提案】

感謝と讃美： 具体的な祝福を感謝し、神の憐れみのゆえに讃美をささげましょう。

告白： 個人的な告白のために時間を取り、神の赦しのゆえに感謝をささげましょう。

願い： 私のチャレンジと決心のために、神様が知恵を与えてくださるよう祈りましょう。

教会のために： 私たちの教会、地域の教会、世界中の教会の働きを神様が祝福してくださるよう祈りましょう。

人々の必要のために： 教会員、家族、隣人の必要のために祈りましょう。

静かに耳を傾け、

応答しましょう： 神のみ声を聞くために静かな時間を過ごし、讃美と歌で応答しましょう。